

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、八千代医療センター消化器内科・消化器外科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] ERCP 後の後腹膜穿孔に対する治療の検討

[研究対象者]

2006年12月～2023年9月までの間に、八千代医療センター 消化器内科・消化器外科にて内視鏡的逆行性膵胆管造影後の後腹膜穿孔と診断され、消化器内科・消化器外科で診断・治療を受けられた方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、入退院日、既往歴、併存疾患名、治療方法、転帰、血液生化学検査データ、血圧・脈拍などのバイタルサイン、看護記録、医師記録、画像検査、病理所見情報、集中治療室での記録など

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

ERCP後の後腹膜穿孔に対する適切な治療について検討することを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2028年9月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 岩本絹子

研究責任者：東京女子医科大学 八千代医療センター 消化器外科 講師 樋口亮太

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 八千代医療センター 消化器外科 樋口亮太

電話：047-450-6000 医局内線 2424（応対可能時間：平日 9 時～16 時）